

製品構成



① 吸引マスク

気道に詰まった粘液を吸い取る役目をします。



② 蘇生マスク

仔牛の肺に空気を適切に送り込む役目をします。

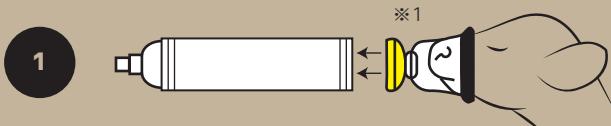


③ 呼吸器ポンプ

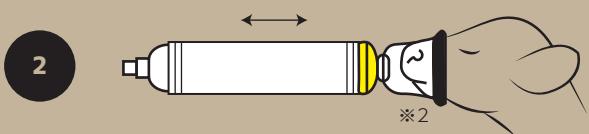
吸排をコントロールするバルブがついており、吸排両方に対応できるようになっております。

使用方法

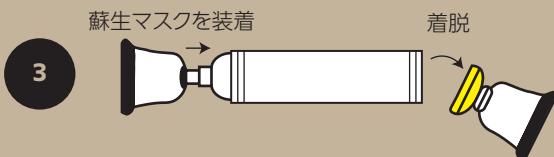
- 使用に際し、仔牛の頭を後方に傾け仔牛の気道を確保します。
- 呼吸器のポンプ操作はあなたの呼吸のペースに合わせて吸入間隔の操作(5~10秒間隔)をします。
- 通常、仔牛は2回~5回のポンプ操作で呼吸を始めます。5回のポンプ操作をしても仔牛の呼吸が停止したままの場合は、体をひっくり返します。仔牛の片方の肺がもう一方の肺の上部に重なっている場合があります。また、仔牛を犬の様に座らせることが出来れば、両方の肺に同時に空気が送り込めます。



吸引マスクの黄色のアダプター(※1)をポンプに装着し、鼻と口を覆います。



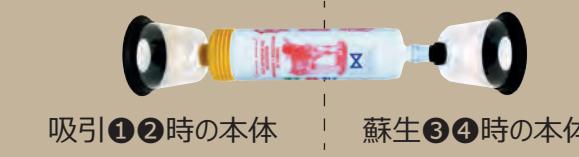
鼻と口がマスクで完全に覆われているか確認します。粘液を取り除くため、ポンプを4~5回作動します。(※2:粘液排出)



吸引マスクを取り外し、蘇生マスクを取り付けます。



蘇生マスクで鼻と口を完全に覆います。5~10秒間隔で、ポンプを作動します。再度、仔牛を反対側に向け、ポンプを作動します。



吸引①②時の本体

蘇生③④時の本体

専門家より

「分娩介助された子牛は出生直後に口腔、気道および鼻腔内に羊水が入っていることが多く、また母体の産道を通過する際に仔牛胸部の圧迫を受けているので、呼吸開始が遅延することが多い。よって直ちに気道内の羊水を除去し、空気を送って胸腔内に酸素をおくることが重要です。この人工呼吸器セットは気道の羊水除去と酸素供給の二つの機能を速やかに行える優れた製品であることが、多くのユーザーによって証明されています。優良子牛の確保には必須のアイテムです。」

使用上の注意

胃に入り込む空気は外部圧でコントロール出来ます。このために、気管を確保し、食道を圧迫してください。



動画もご覧下さい

取扱いについて

- 洗浄は家庭用洗剤を20倍に薄めたものか、搾乳施設で使っている洗剤で簡単にできます。
- ポンプで洗浄液を吸い上げてもバルブに悪影響はありません。
- 洗浄後は水を振り落し、乾燥させてください。

品質保証

ポンプは全て、1本1本最新のISO10651-4（国際標準規格）を順守するためにテストし、出荷されています。品質管理の規約の一部として、全ての製品のテスト結果を記録しております。

輸入元:  株式会社野澤組 畜産部

本社 畜産部 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-2(東宝日比谷プロムナードビル)
北海道営業本部 〒080-0048 北海道帯広市西18条北1-1-2
九州営業所 〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水2-10-7(光永ビル403号)
仙台営業所 〒980-0002 宮城県仙台市青葉区福沢町3-37(蝉林館103号)

E-mail: livestock-2@nosawa.co.jp

電話:03-3528-8107 FAX:03-3528-8126

電話:0155-67-5025 FAX:0155-67-6207

電話:096-381-3914 FAX:096-381-3841

電話:022-397-9781 FAX:022-397-9782

販売元: 株式会社 関家畜人工授精所